

# 金曜行動 スタンディング



11日の金曜行動は、百貨店前でスタンディングを行った後、四国電力前でコールをあげました。参加者は「原発近くは活断層」「再稼働反対

「伊方は危ない」とコール。「伊方3号機はプルサーマルという危険な発電方法だ。即時廃炉を求めます」「福島に現状を見れば、福島に連帯し、原発廃炉へ行動を共に」などと訴えました。

## 東・西両地区の党会議 新人事決まる

東部地区委員会が・日、西讃地区委員会が13日、それぞれ地区党会議を開きました。新しい体制は次の通りです。

- 《東部地区》
  - 委員長 一 章 健
  - 副委員長 池野 健
  - 同 岡田 真
  - 同 鍋谷 真
- 《西讃地区》
  - 委員長 河村 整
  - 副委員長 尾崎 淳一郎



## 私と原水爆禁止運動 松永始

香川の平和民主運動にかかわった経験 1

最初に筆をすずめるにあたり自己紹介をしたいと思います。

私は徳島県阿波郡市場町に1940年2月に10人兄弟の末っ子として生まれ、1960年まで徳島市内に通勤して工具店の丁稚小僧として働き、20歳の時に兵庫県尼崎市の尼崎製鉄所に入社、3年間、製缶工として働き、義理の兄弟を頼って水道工事の組に就職、1966年に高松平和病院に就職。ここで民医連の神髓に触れ、この道一筋に突き進み、60歳の定年まで勤め現在に至ります。この間、平和運動・民主運動に参加し、当初はさながら動員要員のごとく様々なところに参加してきました。入職して最初に行ったところが、第12回原水爆禁止世界大会でした。そして間もなく白鳥事件の村上國治が刑期の3分の2を終えて、法的には出所できるというので網走刑務所に出迎えるため全国動員がかり、香川から

も初めて5名が参加した、その一員として行きました。國治は不当にも出所が許されず、抗議集会となりました。初めて参加した香川県にあいさつの要請があり、誰かが行くものと思っていきました。私が舞台上上がるハメになりました。

足がカタカタ震えたことを覚えていません。何をしゃべったかは全く記憶がない。激励の大きな拍手を覚えていません。原水爆禁止世界大会には1966年から2018年まで52年間、欠かさず参加し、まもなく82歳を迎えます。現在は県原水協顧問。

香川の原水爆禁止運動の日常化の過程について話します。日本の原水爆禁止運動の分裂以後、香川県の原水爆禁止運動の転機となったのは、1966年の第12回原水爆禁止世界大会の報告集会でした。報告集会で、神

戸港原水協が、6・9行動を連続100回突破したとの報告があり、そのことが大きな話題となりました。当時の原水禁運動は、夏になると現れるので「幽霊」と揶揄されていました。まずこの風評をなくすために神戸港原水協に学び6・9行動を行うことで運動の日常化を図ることが確認されました。その後の理事会で香川の原水禁運動の基本方針として①6・9行動の実施で運動の日常化を図る、②被爆者とともに、という方針の実践を確認しましたが、言うは易し行うは難しで、なかなか実践が伴いませんでした。実践に取り掛かるまでに2年を要し、新しいベニヤ板の看板、プラスチックのカンパ箱、前だれ(藤井九十九氏特製)、ハンドマイクを用意して三越前で第一声をあげました。ときは1968年11月6日。商店



神戸の活動家は、署名をしている間に次の人に訴え、彼の前は人が途切れることはありませんでした。マスクも記念集会是大きく報道しました。

# 民主香川

定価 月 100円  
発行所  
民主香川社  
高松市藤塚町  
3丁目13-14  
☎(087)834-7311

## 党後援会が学習会

小松崎久仁夫選挙対策局長を迎えて

香川県の日本共産党後援会は6日、高松市で小松崎久仁夫選挙対策局長を迎えての学習会を開きました。小松崎氏は「日常から会員を増やし、ニュースを届け、集いを開き、宣伝すること」の大切さを、改憲策動の動きや4中総や全国の具体的事例

を語って強調し、「党が打てれば、多くの有権者となることができるに満ちている。これこそ後援会活動です。後援会づくりに力を入れよう」と力を入れました。中谷浩一県委員長は、「有権者はいろいろ語りたくない思いがある。話を聞きに行く活動が必要だ」と述べました。



太田展生後援会長は「自公政権は憲法改悪にひた走っている。許してはいけない。国民の中に入って一人一人が党のことを伝えて大きくしよう」とあいさつしました。参加の各後援会から発言があり「自民党員だという後援会員に、自公政権のことを語ると、共産党に入れていいと言って

## 四国いつせい宣伝

四国のいつせい宣伝が取り組まれた11日を前後して、香川県では議員や支部が宣伝副委員長や勤務員で休日の団地や商店街で宣伝しました。白川氏は、党のコロナ対策や、消費税の増税や労働法制の規制緩和など新自由主義の転換が必要なることを訴え、「中小企業支援や社会保障の充実、ジェンダー平等の推進、気候危機の打開、急性期病棟の削減計画や高齢者医療費2倍化法の撤回、消費税減税と、優しく強い経済への転換が必要です」と強調しました。そ

## 香川革新懇 第40回総会と講演会

- ◇23日(水・祝)13時半～
- ◇県社会福祉総合センター 7階
- 第1部：野党代表挨拶と講演会  
石川康宏教授/神戸女学院大学  
ユーチューブで配信予定。また、Zoomで参加も可能です。
- 第2部：県革新懇総会  
問合せ：087-816-5382

## 野台鼓太

2月は逃げる。もう下旬。寒さも手強いと、巣ごもりしているときではない。エンジンかけて動きだそう。春4月には三つの選挙がある。綾川町・あんどう(安藤)利光さん、まんのう町・小山なおきさん、小豆島町・なべたに真由美さん。三人は「町政にぜひ必要な人」「住民が主人公のまちづくりになくてはならぬ人」。勝利めざしてダッシュだ



この日を前後して各支部が、幹線道路の交差点や駅前街頭宣伝しました。

「ストップ改憲 平和憲法を未来へ」と大書した新しい旗を掲げて街頭から改憲許さない声を上げ、全国署名をはじめた。集いも構えて一回り、二回り声をかけられる方々の輪を広げよう。一人ひとりのお名前、お顔を思い描きながら日本国憲法を暮らしに生かす大きな輪づくりにダッシュだ。パレンタイン行動も元気いっぱい取り組まれるというこの時期なのに、コロナはまだまだ大暴れ中。心配なのは仕事にならない、お店も閑散として人集めもままならない。この状態がいつまで長引くのか。国、行政からの一過性でない暮らしへの援助が求められる。▼国政を変える参議院選挙。野党共闘、夏にかけての大仕事を進める中でコロナのたたかいがつづく。油断なく、マスクを忘れないでダッシュだ。